

<目指す学校像>

「人と人との交流が実感できる温かな学校」

所沢市立狭山ヶ丘中学校「学校だより」 — 令和6年10月 —

URL : <https://tokorozawa-sayamagaoka.edumap.jp/>



狭中だより

【学校教育目標】

『自立と共生』

校長 石原 健

新人戦、終わる…

先日、新人戦（新人体育大会兼県民総合スポーツ大会所沢市予選会）が行われ、市内各会場で熱戦が繰り広げられました。本校の結果は、裏面に記してありますのでご覧ください。中学校の部活動では、年間の公式戦が2大会あり新人戦は読んで字のごとく新チームになって初めての公式戦となります。各部の2年生にとっては、3年生からバトンを引き継ぎ責任ある立場となり、昨年とは違った思いを抱いての大会だったのではないのでしょうか。勝負事ですから、勝ち負けはあって当然です。自分たちが設定していた目標を達成できた部、選手、残念ながら目標に届かなかった部、選手、様々だと思います。様々な取り組みは、し終えた後が大切です。良い結果も悪い結果もしっかりと振り返りかえることで新たな目標が生まれるものです。今後の活躍に期待しています。



第45回体育祭

10月4日（金）体育祭が開催されました。当日は朝から雨が降ったり止んだりと運営側をとっても悩ます天候でしたが、多くの保護者、来賓の方々にお越しいただきました。加えて、開催時刻やプログラムの変更の際しましては、ご理解をいただき本当にありがとうございました。

本年度は暑さ対策のため、日程を例年より3週間後ろにずらしての開催としました。しかしながら、今年の残暑はとて厳しく体育祭の練習を行う上でもとても大変でした。練習時や当日に気象に悩まされた本年度の体育祭でしたが、生徒たちはとてもよく頑張っていました。その時にやらなければいけないことに集中し、全力で競技や役員の仕事など立派に努めてくれました。

学校朝会 ～校長講話より～

「責任ある立場」とよく言いますが、責任というものは部長や副部長だけが持っているものなのでしょうか。勿論、部長副部長など、中心者には責任感が必要ですが、その人たちだけが持っていればいいというものでもありません。責任の重さ（大きさ）の大小はありますが、部（チーム）に所属している者は、各々が責任を持って行動をしているはずで、選手それぞれが与えられた責任を果たすプレーをすることで、チームは勝利に近づきます。逆に無責任なプレーが積み重なることは、チームの敗北につながります。体育祭や合唱コンなどの行事に置き換えてみると、クラスとしてや学年として、実行委員会として、それぞれが与えられた責任を果たすことによって、クラスの勝利や行事の成功につながります。今回の体育祭は、そのようなイレギュラーな状況の中にもかかわらず、しっかりと競技を行えたり運営ができたのも皆さん一人ひとりの責任感の現れだと感じています。

話を戻し今回の新人戦を振り返ってみると、今回試合中に「自分のところにボールが来い！」と思った人、それは自分に与えられた責任を果たそうと頑張っていた人です。反対に「自分のところにはボールが来なくてくれ…」と思った人、それは自分に与えられている責任の大きさに押しつぶされ逃げようとしていた人です。後者の人たち、ちょっと考えてみて下さい。コート、グラウンドに中にいるのは自分一人でしたか？そこにはチームの仲間はいませんでしたか？試合の局面では1対1でプレーしていますが、試合は一人でしている訳ではありません。皆さんのそばには、「勝利」という同じ目標に向かってプレーをしている仲間がいたはずで、ベンチにはチームの勝利を願って応援している仲間がいたはずで、冷静になり周りを見渡すことで、もっともっと自分の力を発揮できるものです。追い込まれた時ほど、仲間の存在を忘れないでください。